

## マツダ RX-8 オンリー走行会

### 第八回エイトリアンカップ in 筑波サーキット

~エイトリアンカップ 2008Spring & RX-8 チューニングカーバトル~

イベントレポート (2008年3月9日実施)

主催：レーシングチームエイトリアン (RTE)



## はじめに

RX-8 だけで熱く盛り上がるサーキットイベント、第八回エイトリアンカップ「エイトリアンカップ 2008Spring&RX-8 チューニングカーバトル」を、2008年3月9日に開催致しました。

今回は RX-8 オーナーによる走行会・レースだけでなく、ショップデモカー（もちろん RX-8 のみ）のタイムアタック、筑波サーキット本コースを使った同乗走行、ショップによる特別セールが行われ、ユーザーカー、ショップデモカー、合わせて 88 台（応援・観戦のみの方を含まず）の RX-8 が筑波サーキットに集結し、大盛況・大興奮をもたらしたイベントとなりました。



この場を借りまして、参加者の皆様、ブース出展およびデモカー走行を実現いただいたショップ各社様、ご協賛いただいた各企業様に、厚く御礼申し上げます。今後も趣向を凝らしたイベントを開催して参りますので、よろしくお願いいたします。

「RX-8 だけでサーキットを貸し切って練習しよう」という小さな企画から始まったエイトリアンカップも今回で 8 回目となりました。これまで、走行会枠については「同時走行台数 23 台（筑波サーキットの上限は 30 台）」、「タイム別クラス分け」、「スーパーラップ」など「走りやすさ」を追求しながら、ビギナークラスの設定（2007年1月～）、RX-8 ワンメイクレースの開催（2007年1月～）、オーナーズミーティングとの併催（2007年8月）、ショップ出展・ショップデモカーによるタイムアタック（2007年8月～）など、オーナーの皆様や購入検討中の方々がスポーツカーとしての RX-8 を楽しめるような企画を打ち出して参りました。



今回は新たな試みとして、2007年8月に筑波サーキットコース 1000 で高評価をいただきました、

- ・ショップデモカー同乗走行
- ・ショップデモカーのタイムアタック
- ・走行会参加者向けの模擬レース

を、エイトリアンカップとしては初めて筑波サーキットコース 2000 で実施しました。

参加ショップ（50音順）：RE 雨宮様、スーパーナウ様、Team JIC with ERC 様、ディ

ーテクニク様、パンスピード様、レボリューション様

走行会クラスはいつものごとく、申込受付開始当日に定員の 46 台以上の申込があり、キャンセル待ちの状態になりました。本当にいつもありがとうございます。キャンセル待ちの順番が回らず、参加希望であったのに参加できなかった方におかれましては申し訳ありませんでした。

また、RX-8 GrandPrix と称したレースクラスも募集台数上限の 15 台がエントリー、チューニングレベルが様々で個性豊かな RX-8 が一斉にグリッドスタートし、一団となって 1 コーナーへ飛び込んでいく迫力は、エイトリアンカップ名物となったと言えるでしょう。



#### 走行会・レース参加者 受付 (9:30 ~ 10:00)

真冬の冷たい雨の中で開催された前回とは打って変わって、天気は快晴、3 月らしい、春の足音が聞こえそうなイベント日和の中、入場指定時刻となる 9 時頃から続々と参加者が筑波サーキットの A パドックへ入ってきます。スタッフによる車両誘導も 8 回目ともなれば慣れたもので、走行クラス毎に色とりどりの RX-8 が整列していきます。



さて、筑波サーキットのオフィシャルも注目しているという噂(?! )の、恒例の「エイトリアンカップ レースクイーン」の衣装ですが、今回は、「プリーツスカート+パーカー+うさぎ耳カチューシャ」です。過去の「メイド」「巫女」などのコスプレに比べるとインパクトは弱いかもしれませんが、このような衣装にこそ、アドレナリン分泌中の参加者に平常心を取り戻させる効果がある、

という仮説に基づいた趣向です(筆者の勝手な推測です)。レースクイーンの衣装に希望がある方は、是非主催の RTE までご意見をお寄せください。厳正な(リーダー・エイトリアン氏の独断と偏見による)審査の上、採否を決定いたします(笑)。

受付が終わった参加者は、サーキット走行の準備をします。

計測器の取り付け、ゼッケンの貼り付け、牽引フックの取り付け、フォグランプのテーピング、トランクの荷物降ろしなど、慣れてしまえば簡単なことなのですが、ビギナークラスや走行会 B クラスでサーキット経験が浅い方、初めての方は不安が募る場面でもあります。比類なきスポーツカーである RX-8 の性能を思う存分に発揮できるサーキット走行の間口を広げることは、エイトリアンカップの重要な目的の 1 つであり、今回もいつも通り、事務局（11 番ピット）に近いところを、サーキット初心者の多いクラスの待機場所とし、スタッフや経験豊富な他の参加者が車両準備に手間取っている方をフォローする、という体制をとりました。このため、走行会 A クラスや、レースクラスの参加者の皆様におかれましては A パドックから離れた場所が待機場所となってしまう、ご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

#### ショップデモカー 同乗走行受付（10:15～）

チューニング、セッティングのプロであるショップ各社が作り上げた RX-8 のデモカー（ん？エンジン？さて何のことでしょ？）がクローズドサーキットを走行する際に同乗できる機会なんて、そうそうあるものではありません。エイトリアンカップの趣旨に賛同していただいたショップ各社のご好意により実現した企画です。

しかも、その同乗走行がエイトリアンカップではなんと無料！！！（走行会参加者でない方は保険代 500 円が必要ですが、それだけです）

1 台あたり先着 3 名という限られたシートを目指して、受付開始時間前から事務局周辺は騒然とした雰囲気となります。そして、10 時 15 分、受付開始とともに長蛇の列ができ、すぐに同乗走行のシートは満席に。定員オーバーで同乗できなかった方、申し訳ありませんでした。

#### ドライバーズミーティング＝ドラミ（10:30～11:15）

RTE リーダーのエイトリアン氏の軽快なトークにより、タイムスケジュールの概要、コースイン・コースアウト手順、車両準備の注意点、牽引フックの装着義務、喫煙場所の制限などが説明されます。走行中のコミュニケーション（安全確保の）手段となるフラッグの説明は筑波サーキットのオフィシャルから行いました。

サーキット走行は、公道では体験できない(してはイケナイ)限界走行が許容される特殊な環境ですが、ルールがないわけではありません。サーキットにはサーキットのルールがあり、それが守られないと非常に危険です。参加者全員の安全のため、全員が気持ちよくイベントを楽しみ、いい気持ちで帰宅できるよう、毎回毎回同じことを繰り返し、走行直前にお話するわけです。



当日のタイムスケジュール変更などの案内もこの場で行われることが多いので、経験豊富な方もしっかり聞いている必要があります。

通常のドラミ終了後、ビギナークラスを対象とした特別ドラミが行われました(ビギナークラス以外の方でも参加は自由です)。

講師は前回に引き続き、RTE リーダーのエイトリアン氏。ディーテクニクの出来氏、パーティレースマスターズクラス 2006 年チャンピオンの本山氏にもサポートしていただきました。

特別ドラミでは、初心者の方に最低限知っておいてもらいたい事項をお話しします。この特別ドラミも、前述の「RX-8 オーナーに対してサーキット走行の間口を広げる」活動の一環として、エイトリアンカップでは毎回実施しています。安全に、楽しく走行するための基礎知識として、大変役立つ内容ですので、今までサーキット未経験の方は、是非エイトリアンカップでサーキットデビューを果たしていただきたいと思っています。

## 走行時間 ( 12:00 ~ 16:00 )



いよいよ 12 時からコース走行の開始です。  
しかし午前のイベントが押していて、約 10 分遅れで開始となりました。

コース上に焦点を当てる前に、ちょっと寄り道・・・

緊張感で一杯のドライバーを癒してくれる、「エイトリアンカップ恒例の RTE 女子部のお見送り」です。

ドライバーの皆さんは、恥ずかしがらず、手を振り返してあげてください。  
レースクイーン笑顔はさらに大きなものになることでしょう。

今回、赤いRX-8のペースカードライバーを務めるのは、RTE女子部で唯一、自らもスポーツ走行のステアリングを握る「みゅう嬢」です。かわいらしいレーシングスーツ姿に萌え～となった方も多いことでしょう。



そして、レースアナウンサーは、パーティレースやマツダスピードカップサーキットトライアルの実況でお馴染み、いや、エイトリアンカップでもなくてはならない「声」となったZUPPY(凶師英嗣)氏。今回もツッコミどころ満載(!)のMC(参加者イジリ?)で会場を盛り上げてくださいました。

#### 走行会枠(Aクラス)

Aクラスは筑波サーキットの自己ベストが1分7秒台~11秒台の23台。同一車種、小タイム差で走りやすい環境のはずですが、今回はパドックの都合上申告タイム順のコースインができなかったためか、第1ヒートは走りづらかった、という意見をいただきました。「走りやすさの追求」はエイトリアンカップのメインテーマですので、今後の運営に活かしたいと思います。

第2ヒート以降は、およそ3分の2の方が第1ヒートのタイムを上回り、しかも春を感じられる陽気であったにもかかわらず、自己ベストの更新に成功された方も多かったようです。特にAクラスでは恒例となった走行台数を半分にしたスーパーラップ(同時走行台数11台~12台)では、のびい選手が走行会クラスでは唯一の1分7秒台を記録するなど、「走りやすい環境」を提供できたのではないかと思います。

車両トラブルによる出走キャンセルや、コースアウトに伴う赤旗中断などもありましたが、流石は経験者の集まり、各自の適切な判断が功を奏して大事に至ることはありませんでした。

#### 走行会枠(Bクラス)

Bクラスは自己ベストタイムが11秒以上、またはサーキット走行経験が浅い方が中心のクラス(サーキット初体験の方もいらっしゃったと思います)。調査したわけではないですが、おそらくほとんどの車両がDSC ONで走行していると思われる、大きな事故もなく、参加者

はレーシングスピードで周回を重ねていきます。

B クラスのリザルトを見ると、全ての方が 1 分 18 秒以下の記録を出されています。車両の違いや経験の違いを考慮すれば、これは立派なタイムです。平均時速に換算すると、94km/h 以上、最高速（計測地点）は 140km/h ~ 150km/h 出ており、サーキットでしかできない走り、RX-8 の性能を思う存分楽しむ走りを全員がしていたことと思います。これを機会に練習を重ね、タイムアップ、レース参戦などを考える方もいるでしょうし、年に数回、エイトリアンカップのようなイベントのみでサーキット走行を楽しむという方もいるでしょう。それぞれの方がそれぞれのスタイルで、スポーツ走行を楽しめるのが RX-8 というクルマですし、そのような場をエイトリアンカップは今後も提供していきたいと思えます。

### 走行会枠（ビギナークラス）

ビギナークラスは、サーキット走行が初めてという方中心のクラス。ヘルメットやグローブ不要のパレードランや、終始ペースカー先導で追越禁止の体験走行では満足できないが、どんな人がいるのかさっぱり分からない走行会にいきなり参加するのはちょっと・・・という方に最適なクラスです。

車種は全て RX-8 だから数秒前にずっと後ろにいたクルマがすぐ隣にいて慌てるようなこともなく、ドライバーのレベルも大差ないはずなので「遅いから迷惑をかけてしまうかも」という心配も無用。これまでも多くの方が、エイトリアンカップのビギナークラスから走行会枠へ巣立っていきました。

今回は 21 台の RX-8 がエントリーし、各自のペースでサーキット走行を満喫されました。一部走行会クラスが満員御礼で参加できないためにビギナークラスに参加、という方もいたようですが、経験者として相応しい、大人の対応をしていただき、大きな混乱もなかったようです。

しかし、残念なことに今回ビギナークラスの 1 台が自走不可能な事故を起こしてしまいました。サーキット走行は最終的には自己責任ですが、主催者として事故を防ぐためにアドバイスしておくべきことはなかったかを再度検討し、今後の事故防止に努めたいと思えます。なお、事故後、ビギナークラスと走行会 B クラスを対象に緊急ドラミを行い、より安全な走行をするためのアドバイスを行いました。

### レースクラス（予選）

走行会枠が一巡した後、15 人の RX-8 マイスターがコースインし、RX-8 GrandPrix の予選（15 分間）となります。15 台混走ですが、実際は過給器・S タイヤ以外の改造が自由の GP-1 クラスと、ノーマル車両に近い GP-2 クラスに分かれて順位を争います。

今回の予選は GP-1 クラスの上位 5 台が 0.232 秒以内、GP-2 クラスの 1 位と 2 位が 0.131 秒差となる大接戦となりました。大接戦を制し、見事ポールポジションを獲得したのは、自己ベストを更新する 1 分 7 秒 024 を記録した RTE みつ選手でした。GP-2 クラスのトップは、同じく自己ベストを更新する走りで 1 分 7 秒 587 を記録した RTE かねび一選手でした。

車両トラブルで予選アタックを早々に中止した車両がありましたが、出展ショップの協力により決勝までに修復されました。症状からトラブルの原因がすぐに特定でき、なおかつその場で修理が可能というのも RX-8 だけのイベントならではのと言えるでしょう。

### ショップデモカー同乗走行 (13:15 ~ 13:30)



今回、同乗走行が実現したデモカーは、RE 両宮様のストリート向けチューン、レボリューション様のサーキット向けナンバー付フルチューン、パンスピード様のペリフェラルポート仕様、スーパーナウ様の足回りチューンのみの 6AT、の 4 台です。

幸運にも同乗の権利を得た方々を助手席に乗せて、疾走するデモカー。

パンスピード様のデモカーは普段存在しない助手席を、同乗走行のために用意してくださいました。ファンサービスの精神に感動です。そのデモカー、何と同乗走行で 1 分 3 秒 580 というタイムを記録。これはどんな世界なのでしょうか・・・想像もできません。同乗された方がうらやましいです。他のデモカーもその性能を余すところなく発揮した走りで、同乗者を魅了したに違いありません。

同乗された方は、是非、そのときの興奮・感動を、ご自身のブログや BBS などでも多くの方に伝えていただきたいと思います。

### ショップデモカータイムアタック (15:25 ~ 15:40)

タイムアタックには 4 台のデモカーがエントリーし、実際の走行は、ギャラリーの視線を釘付けにしました。



ショップデモカーのチューニングレベルは多種多様であり、一律にタイムを比較することが困難ですが、ナンバーの有無、タイヤ種別、過給器の有無、ミッション種別によって、以下の通りクラス分けを行い、タイムアタックをしていただきました。

クラス名	ナンバー	S タイヤ	過給器	ミッション	今回参加車両
OPEN	なし			制限なし	パンスピード Team JIC with ERC
S タイヤ	あり		×	制限なし	レボリューション
S タイヤ-Turbo	あり			制限なし	-
STREET	あり	×	×	制限なし	-
STREET-Turbo	あり	×		制限なし	-
AT	あり	×	×	AT	スーパーナウ
AT-Turbo	あり	×		AT	-

#### ( 1 ) OPEN クラス

公道走行にこだわらない、改造なんでもありの OPEN クラスは 2 台がエントリー。



パンスピード様のデモカーは、今シーズン 59 秒台を記録したペリフェラルポート仕様の他の追従を許さない最速 RX-8。今日も「分キリ」のタイムが出るか注目が集まりましたが、記録は 1 分 1 秒 277。さすがに 3 月のコンディションだと、「分キリ」はなりませんでしたが、速さと音と迫力は突出したものでした。



Team JIC with ERC 様のデモカーは、ERC(エリートレーシングコーポレーション)によるドリフト仕様で、時には白煙を上げながら派手なドリフトアングルをつけてギャラリを沸かせていましたが、アタックラップでは安定したグリップ走行を行い、1 分 3 秒 792 を記録。見せてよし、走ってよし、のインパクトのあるデモカーでした。

順位	クラス	ショップ名/車名	タイム
1	OPEN	パンスピード	1'01.177
2	OPEN	Team JIC with ERC	1'03.792

## (2) S タイヤクラス

過給器追加以外の公道走行可能な範囲(ナンバー付)でチューニングを施し、S タイヤ装着 OK のユーザーカーと同じ土俵でショップが威信をかけてタイムアタックを行うのがこのクラスです。



レボリューション様のデモカーは、一般ユーザーができるチューニングメニューを施したナンバー付のサーキット仕様。ノウハウが凝縮されたエンジンチューンと、クロスギアと 5.125 ファイナルギアを組み合わせた駆動系チューンがポイントとなっています。コンディションというハンディキャップを蹴散らし、ユーザーカー最速タイムをキッチリ上回る、1 分 4 秒 446 を記録。シ

ョップデモカーの貫禄を見せてくれました。

順位	クラス	ショップ名/車名	タイム
1	S タイヤ	レボリューション	1'04.446

## (3) AT クラス

S タイヤ・過給器追加ともに不可とし、AT 車でもサーキット走行を楽しめることを見せてくれるのが AT クラスです。



スーパーナウ様のデモカーは足回りチューンのみの 6 速 AT 車両。ドライバーは RTE リーダーのエイトリアン氏。慣れないセッティング、AT ミッションに苦労しながら、公約通りの 10 秒切りとなる 1 分 9 秒 974 を記録しました。さすが、素人最速の RX-8 ユーザーです。

順位	クラス	ショップ名/車名	タイム
1	AT	スーパーナウ	1'09.974

上記以外のクラスは、今回はエントリーがありませんでしたが、各ショップ様におかれましては、自社パーツでチューニングし、独自のノウハウによりセッティングされた自慢のデモカーを多くの RX-8 オーナーの皆様にお披露目する機会として、エイトリアンカップ・ショップデモカータイムアタックへの参加をご検討いただければ幸いです。

## 模擬レース (15:45 ~ 15:50)

走行会参加者向けの模擬レースオプション(スタート練習&4周)では、偶然ながらウイニングブルー3台のバトルが演じられました。応援する方も見分けるのが大変だったと思います。

今回は参加6台と寂しい状況でしたが、模擬レースは、レッドシグナル消灯でスタートするというなかなかできない経験ができ、ドライバーが意図的に他社との間隔を空ければ、その後はチェッカーフラッグまでクリアラップがほぼ保証されるという最高のコンディションで走ることが可能になるものです。走行会参加の方は次回以降、参加を検討してみたいかがでしょうか。レースではありませんので、他車とバトルするのがイヤならば、グリッドを話し合いで決め、ノンビリスタートする、ということも不可能ではありません。



## レースクラス (決勝)

さて、今回もイベントの締めくくりは、RX-8 GrandPrix 決勝です。

15台のRX-8がグリッドに整列後、レッドシグナル消灯でスタート。

ゼロスタートからの全開加速、周囲の他車との位置関係を気にしながらのライン取り、1コーナーに向けたブレーキング。15台全車が少しでも前へ、という共通の意思で、思い思いのドライビングをした結果、隊列が整っていきます。

各自が、それぞれのポジションで駆け引きを行い、壮絶なバトルが展開されますが、今回も接触事故、単独事故(車両破損)は皆無でした。これは、目前でスピンする車両があっても的確に回避できる参加者のドライビングスキル・センスと、テールトゥノーズ・サイドバイサイドが続いても無理なパッシングをしない参加者のマナーが高い次元で成立していることの証左と言えると思います。事故が発生しないことにより、参加者もギャラリもいつまでもいい思い出として振り返られる、本当に素晴らしいレースだと思います。

レースの結果は、予選2位のRTE さわじい選手(注:筆者ですw)が、逆転優勝を決め、GP-1クラス2連勝。2位は最後まで再逆転を狙い続けたRTE みつ選手、3位はRTE KOO



選手となりました。GP-2 クラスは予選もクラストップタイムだった RTE かねびー選手が優勝、2 位に RTE ドコデモ 8 選手、3 位にあ～る X ハチおおかみ号選手が入りました。

## 表彰式・ジャンケン大会 (16:30 ~ 17:30)

RX-8 Grand Prix 決勝の興奮が冷めやらぬ中、走行会各クラスとレースクラスの表彰式が A パドックで行われました。

これまで表彰式は VIP ルームで行ってきましたが、A パドックのショップブース前で行うことにより、表彰台が利用できること、参加者に適度に一体感が生まれること (VIP ルームは縦長なため、MC との距離が広がってしまう)、ショップ各社様も自然に参加可能であることなど、メリットが多く成功だったと言えるでしょう。

各クラスの表彰者は以下の通りです (敬称略)。

RX-8 Grand Prix 決勝 (12 Laps)					
GP-1 クラス			GP-2 クラス		
順位	ドライバー	タイム	順位	ドライバー	タイム
優勝	RTE さわじい	13'40.975	優勝	RTE かねびー	13'51.495
準優勝	RTE みつ	13'41.602	準優勝	RTE ドコデモ 8	14'02.231
3 位	RTE KOO	13'50.731	3 位	あ～る X ハチおおかみ号	14'05.577

Expert クラス		
順位	ドライバー	タイム
優勝	のびい	1'07.933
準優勝	RTE ミセガワ	1'08.052

Open		
順位	ドライバー	タイム
優勝	U1	1'09.442

More クラス		
順位	ドライバー	タイム
優勝	RTE 緑の彗星 (?)	1'09.066
準優勝	れじ	1'09.090
3 位	kero	1'09.254
4 位	RTE mic	1'09.536
5 位	なべ	1'09.540
6 位	あ～きん	1'09.727

STD		
順位	ドライバー	タイム
優勝	ヨロヨロ	1'11.355
準優勝	ナカジ	1'12.192

Light		
順位	ドライバー	タイム
優勝	マーメイド	1'08.811
準優勝	やまと	1'09.049
3位	take0426	1'10.114
4位	ひいろ	1'11.348

AT		
順位	ドライバー	タイム
優勝	さなぎん	1'11.947
準優勝	なかじ~@木更津	1'13.294

続いて、エイトリアンカップ恒例の豪華協賛品が次から次へと出てくるジャンケン大会が行われました。今日もたくさんの方が、走行会参加費以上の協賛品を手にししました。



エイトリアンカップにご協賛いただいた企業様と協賛品は以下の通りです。

協賛企業様に対しましては、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

プロジェクトミュー 様 (エイトリアンカップ 年間サポートスポンサー)

- ・ ブレーキパッド 1 台分

RE 雨宮 様

- ・ エンジンオイル 3 缶
- ・ オイルフィルター 3 個
- ・ リキモリ 2 個
- ・ ファンコントローラー 2 個
- ・ RE 雨宮 Book 5 冊
- ・ 新発売のクアंटム 25%割引権 (工賃・アライメント調整含む) 1 名

レボリューション 様

- ・ エンジンオイル 2 缶
- ・ オリジナルトレーナー 2 着

パンスピード 様

- ・ オリジナルオーバーフェンダー (エアロパーツ) 1 セット

ディーテック 様

- ・ 4月22日 筑波サーキット2000 走行会無料参加権 1名
- ・ 同 半額権 2名

スーパーナウ 様

- ・ ローター型灰皿 2個

Team JIC with ERC 様

- ・ ブレーキパッド 3台分

CB365 様

- ・ ブレーキパッド 2台分

Defi 様

- ・ Defi VSD-X + マツダ車専用 REV アダプタ 1組

横浜ゴム 様

- ・ 走行会参加者用 ゼッケン

有志

- ・ ラジコンヘリコプター 1個
- ・ 温泉入浴剤 2個
- ・ ボディソープ 2個
- ・ 著書 2冊

## 最後に

私自身、エイトリアンカップへの参加は今回が7回目（第1回のみ不参加）ですが、走行会枠の走りやすさ、レースクラスでの駆け引き、レースクイーンによる癒し、毎回新たなことにチャレンジする姿勢など、どれも他に類を見ないサーキットイベントであり、エイトリアンカップなくして、私のサーキット活動、RX-8 ライフの充実はありえなかったと思っています。まさに、RX-8 のキャッチコピーである、「Like No Other」を実現しているイベントではないでしょうか。

これからも私はエイトリアンカップに参加し、楽しみ、笑い、（時には）悔しがり、充実したRX-8 ライフを送りたいと思っています。是非、同じような気持ちを一人でも多くの人に味わってもらいたいと思います。サーキット走行に興味がある方はエイトリアンカップをサーキットデビューのきっかけにさせていただきたいですし、興味のない方はショップデモカー目当てでも、8月のミーティング会場に足を運んでいただき、エイトリアンカップを

通じて「RX-8 のオーナーでよかった」という気持ちになっていただきたい、と思っています。



オーナーの方々からの注目が増すことで、マツダ株式会社、ショップ各社様とのコラボレーションをさらに深くし、RTE 一同一丸となってイベントを成長させていく所存ですので、よろしく申し上げます。

報告者：RTE さわじい（沢崎 祐一）